



センターゾーンの 未来をみえる化しました

みえる化の目的

岐阜駅周辺から岐阜公園までをつなぐ岐阜市のセンターゾーンには、これまで築き上げ、受け継がれてきた個性に満ちた駅周辺エリア、柳ヶ瀬エリア、つかさのまちエリア、岐阜公園エリアの4つのエリアがあります。

商業、居住など多様で高次の都市機能を有する都市の顔となるセンターゾーンは、ゾーン内に留まらず、都市全体が持続発展するためのエンジンであり、きわめて重要なゾーンです。

センターゾーンの推進力をさらに強めるには、リニアインパクトなどを見据え、民間と行政とが力を合わせながら、まちの魅力を高め、潜在的な価値を向上させることが不可欠です。

そこで、市民の皆さまをはじめ、多くの方々に、センターゾーンの未来に関心を持っていただくきっかけづくりとともに、民間活力・投資の誘発やまちなか居住のさらなる誘導を図るため、概ね10年先の未来における緩やかな方向性を分かりやすくみえる化する「岐阜市センターゾーンの未来風景」を作成しました。

将来像に向けた基本的な考え方

まちは、働く場、暮らしの場などのプラットフォームとしての役割を有し、センターゾーンにおいても、目的の異なる人々が、都市空間を自由に往来することで、にぎわいと活気が生まれます。

個性あふれるエリアごとに、目指すべき未来をみえる化しつつ、求められる都市機能を明確にし、厚みと広がりのあるにぎわいを創出します。

センターゾーンの将来像

これら4つのエリアの個性を際立たせながら、センターゾーン全体をさらに魅力ある空間へと導くことが大切です。古きと新しきが調和したまちなみを演出し、市民や来訪者がこの場でしか体感することのできない、ときめきとやすらぎを提供する都市空間づくりを実現し、未来を切り拓いていきます。



将来像 ときめきとやすらぎを体感する都市空間を創出し、
未来を拓くセンターゾーンへ